



新年あけましておおめでございます

「子どもたちの幸せと平和を願って」

昨年の秋、長野県にちひろ美術館に行きました。ちひろ公園内にある美術館で館長はトットちゃんこと黒柳徹子さん。雄大な北アルプスの山々を背景に広々とした公園。館内に入ると遠い昔に目にした数々の絵本が並んでいました。あちらこちらで小さな子どもたちが自由に絵本を広げており、ゆったりとした時間が流れていました。展示室には「子どもの幸せと平和」を生涯のテーマとして作品を描き続けた絵本作家「いわさきちひろ」さんの絵画がありました。どの作品からも子どもたちへの温かいまなざしが見てとれ、厳しい時代の中でしたがどの絵も「子どもへの愛と平和を願う想い」に溢れていました。広大なトットちゃん広場にはトットちゃんが小さいころ通ったトモ工学園をモデルにした電車車両の教室と図書館があり、小さな子どもたちの笑い声が聞こえて来るようでした。

昨年度末、映画化された「窓際のトットちゃん」ではあのちひろ公園でみた景色がそのまま、画面の中にありました。校長先生の「きみはいい子だよ」と優しく語りかける声。「きみはいい子」「みんないっしょ」子どもたちの個性と可能性が輝く学校がありました。

今、世界のあらゆるところで子どもたちの命を脅かす戦争が起きています。何気ない毎日の営みができない状況。食べることも、安らかに眠ることも、医療を受けることも出来ない現実。ちひろ館で見た「戦火の中の子どもたち」今、まさに子どもたちの命が脅かされています。

50年以上、子どもの命を守り次へと繋いできたすみれ乳児院。純粋な笑顔、笑い声を絶やすことのないよう、職員一同力を合わせ進んでいきたいと思えます。

今年もどうぞよろしく申し上げます。

すみれ乳児院 施設長 北口美弥子 職員 一同



こどもの様子



暖かな日も多かった秋。毎日のようにお散歩へ行き、落ち葉を見つけてはみんなで踏んで「かさかさ」という音を楽しんだり、どんぐりを見つけては「どんぐりー！」と嬉しそうに両手いっぱい拾っていたきいろグループの子どもたちは、秋を思う存分感じることができました。秋はハロウィンやクレーブパーティー、七五三など行事が盛りだくさん。ひまわりホームには七五三に参加した子どもたちが4名。当日体調崩すことなく全員で関目神社へ七五三参りに行くことができました。神主さんから名前を呼ばれ緊張しながらも「はい」と返事ができている姿、「かしこみかしこみしてもらったなあ」と得意げに話す姿、袴や着物を着こなしている姿を見てお兄さん・お姉さんになったなあと感じました。日々子どもたちの成長を見逃さないようにしていきたいと改めて感じました。

また、新生児から6ヶ月の子どもたちが生活するたんぽぽホームではこの秋に離乳食が始まった子どもたちが2名いました。初めての離乳食の日は「上手に食べられるかな?」「どんな顔するかな?」など職員も毎回そわそわしますが楽しみな瞬間です。給食部の職員や部屋に来てくれてたくさんの職員に見守られながらぱくっと一口!びっくりするくらい上手に口を動かして食べることができていました。すみれ乳児院では離乳食の開始時期や進め方を栄養士や看護師と相談しながら子どもたち一人ひとりに合った食事を提供するようにしています。

これから一気に寒さも増し、感染症も多くなる季節ですが手洗いうがいはもちろん、体をしっかり動かし元気に過ごしていきたいと思います。



きいろグループ
近藤



あさひ福祉まつり

10月22日に城北公園で第44回あさひ福祉まつりを行いました。コロナ禍を乗り越えて数年ぶりの城北公園での開催でした。今年度のあさひ福祉まつりのテーマは「みんなの力で一人ひとりが大切にされる平和で福祉ゆたかな町を築こう!」でした。当日乳児院からは後援会よりスマートボールを出店し、親と子のコーナーでは手作りのワニワニパニックをして、地域の方とたくさんコミュニケーションを取ることができました。すみれ乳児院についても知ってもらえる機会となりました。子どもたちは職員と一緒に遊びに行き、ゲームをしたり美味しい物を食べたり、楽しくまつりに参加できました。

今年も地域の方々から協賛していただき、祭りを開催することができました。来年度も今年度の経験や反省を活かして、より楽しく、そして平和や福祉について広がっていくようなあさひ福祉まつりを行いたいと思います。



あおいろグループ 山本



親子遠足・やきいもパーティー

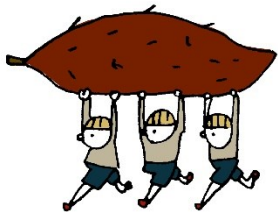


9月30日にサバーファームへいも掘りに行きました。当日までさつまいもの絵本を読んだり、親子遠足のポスターを作成し部屋に貼ったり、手遊びなどもして、子どもたちが楽しみだと思えるよう準備をしていました。当日は朝起きると、「おいも掘り行く?」「バス乗る?」「おべんとうある?」と職員に聞く子もいて、楽しみにしていることが伝わってきました。

「たのしみだね」とお話ししながら院を出発し、子どもたちと保護者の方と一緒に大きなバスに乗って行きました。初めての遠足や大きなバスにドキドキしている子、楽しみでワクワクしている子など、いろいろな子どもたちの表情が見られ職員たちも嬉しく思いました。

到着すると、広い芝生の広場でお弁当を食べエネルギーをチャージし、待ちに待ったいも掘りです。子どもたちはどろんこになりながらもさつまいもがとれると目をキラキラさせて素敵なお顔をを見せてくれました。

たくさんのおいもが取れて大人も子どももとても楽しむことができました。



たくさん採れたよ!

後日、自分たちで収穫したおいもを焼き芋やスイートポテトなどにして焼きいもパーティーをしました。食べる時にも「掘ったおいも?」と聞き、そうだとわかるととても嬉しそうにしていました。自分で取ったおいもは特別美味しかったようでたくさん食べてくれました。

保護者の方より、「普段はなかなかできないさつまいも掘りという貴重な体験をさせてあげられてよかった」と感想をいただきました。子どもたちがこれからもいろいろな経験ができるように考えていきたいです。

ももいろグループ 寺村



福祉のひろば

創刊は1979年6月、大阪福祉事業財団職員共済会の専門部の1つである「研究部」が全施設の実践記録をまとめることとなり、創られたのが『福祉のひろば』です。毎月発行されている冊子には、社会福祉の様々な分野の特集が組まれており、それらの現状・課題・現場の声などを知ることができます。つまり『福祉のひろば』は、日常の仕事の取り組みをありのまま総括し、現実をどう発展させるかを現場で働く人たちが共有し合える場となっています。今年度は対面での社会福祉研究交流集會も開催することができ、平和についての学びを深めることができました。

すみれ乳児院では、毎月『福祉のひろば』の読み合わせ学習会を院全体で行い、社会福祉の情勢について学んでいます。今後も『福祉のひろば』を通して様々なことを学び、日々の実践に活かしていきたいと思っております。今年度より玄関の一角に「福祉のひろばコーナー」を設置しました。見本誌も掲示していますので、興味がある方はぜひご覧になってください。

きいろグループ 畠山



いただきます～す！

根菜の炒めなます

材 料 (大人2人分 子ども2人分)

大根：200g にんじん：150g
油：大さじ1
※れんこんを加えてもおいしいです。

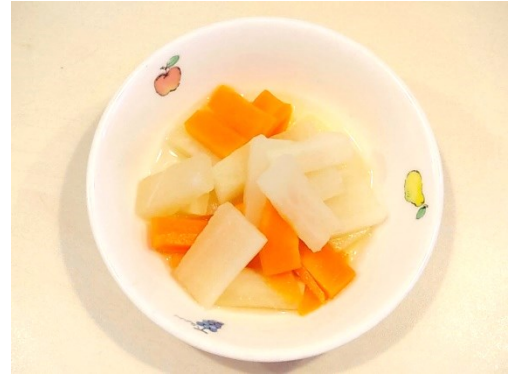
だし汁：60cc 砂糖：大さじ1
酢：小さじ2 塩：ひとつまみ
うすくちしょうゆ：少々

作り方

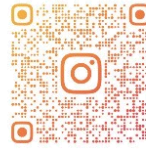
- ① 大根、にんじんは短冊切りに切る
- ② 鍋を中火にかける。油を熱して、大根・にんじんを入れ、しんなりするまで炒める。
- ③ だし汁、砂糖、酢を加えて味を煮ふくめる。やわらかくなったら塩としょうゆで味を調べて出来上がり。

給食部 中村

～子どもも大好き、優しい味 お正月にいかがでしょうか～



すみれ乳児院HPは
こちらから！！



@SUMIRENYUJIN

Instagramはこちらから！
子育てに役立つ情報を写真付きで
分かりやすく載せています！

後援会からのお願い

すみれ乳児院が所属する「社会福祉法人 大阪福祉事業財団」は、大阪府下に24の福祉施設を持っています。大阪福祉事業財団後援会では、各施設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす取り組みを進めています。

後援会では皆様の物心両面にわたるご支援・ご協力を必要としております。

*個人会員 1口 3,000円
*団体会員 1口 10,000円

既に入会して頂いている方は、2024年度の更新の
手続きを宜しくお願いいたします。

大阪福祉事業財団を応援して下さる方は、
すみれ乳児院 (06-6958-6066) まで。

これからの3カ月の行事予定

- 1月 初詣
もちつき
- 2月 節分
おやつパーティー
- 3月 ひなまつり
春のつどい

保護者の方には後日詳しい
日程をお知らせします。



【編集後記】

2023年の漢字は「税」でしたが私は「虎」を推したいと思います。私の生まれた年以來の、阪神タイガースのアシ。日本一が決まった瞬間は思わず叫んでしまいました。今年も嬉しいニュースが多い年になりますように。(松原)

